



四日市大学留学生新聞 第50号



2023年7月13日発行

編集長 リン シャオイエン

副編集長 クンワル ラメシュワル、ライ バビ

編集委員 カドカ ビマル、ピョ タンダー チョー、ファム フェン ニュン、

サイブイジェウ チャン、ポウデル サグン、アスムニ アラチラガ タカ デイルシャニ アベラサ、

チョウ テンラク、ヴォン ゴック アイン

第50号発行にあたり

これを読んでいるあなたは、この新聞の第1号を読んだことがあるでしょうか。初めてこの新聞を読む人もいるでしょう。この新聞の第1号を読んだ人のうち何人が、これを読んでいるでしょうか。それほど多くはないでしょう。

大学時代に自分の成長に気づくことはありますが、長い時間をかけて多くの人がひとつの事を引き継ぎながら積み重ねてきたことには気づ

きにくいものです。それが歴史です。これを読んでいるあなたも、この新聞の歴史の一部になりました。こ

の機会に、ぜひ、自分もいろいろな歴史の一部であることを思い出してみてください。



【富田 与 総合政策学部 教授】

新入生へのメッセージ



新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。大学生活はまだまだ慣れていないと思います。私も新入生の時は同じでした。大学は日本語学校と違い、日本語の勉強だけでなく、専門的な勉強もあり、不安もあると思います。勉強やバイトで時間の管理が難しく、大変だと思います。

しかし、多くの人たちとの出会い、大学祭や旅行のような楽しいこともあります。勉強は大事なので、1、2年生のうちには先生達と良く相談して自分が興味のある科目を取り、単位をしっかりと取りましょう。そして、日本語のレベルを高めて、能力試験N1も取ると就職に役立つと思います。

【ライ バビ 総合政策学部 3年】

留学随想

日本に留学し、もう3年経ちました。日本では、20歳未満の人はたばこやお酒を買うことができません。母国では父によく頼まれて買いに行っていたので、それを知って驚きました。日本は春夏秋冬がはっきりしていて、それぞれの季節には特徴のある景色や食べ物などがあり、お祭りのような季節の地域活動が行われます。その活動は、小さくても工夫されていて、参加する人もルール、マナーを守り、積極的に参加しており、とても楽しいです。



【ヴォン ゴック アイン 総合政策学部 2年】

弁論大会

私は1年生の時、本学の留学生弁論大会を見に行きました。参加していた留学生の皆さんはとても素晴らしく、魅力的なスピーチを聞き、私も頑張りたいと思いました。

私は2年生になり、「どんな状況でも諦めるな」というテーマで留学生弁論大会に参加しました。弁論大会では、自分でテーマを決めて、表現することができます。また、自分の日本語レベルを示すだけでなく、他の出場者のスピーチを聞くことで自分の認識を高めることができます。弁論大会の日は、私の人生の中で記念日

の一つになりました。皆さんもぜひ参加して自分の才能を発揮してください!

【ピョ タンダー チョー 総合政策学部 3年】



第20回四日市大学留学生日本語弁論大会
2023年12月16日(土)13:00~開催!

ボランティア活動



ボランティア活動に参加すると、多くの人と交流でき、知識や考え方の幅が広がり、日本語能力も向上します。

リ ゴック ヴィさん (写真) は「こどもスペース四日市」でボランティアをしています。初めて電車に乗るこどもに切符の買い方を教えたり、薪割り体験の補助などを行っているそうです。

ヴィさんは、「ボランティア活動を通じて、日本の文化を知ることができました。また、日本語能力やコミュニケーション能力も上がり、さらには日々のストレス解消にもつながっているのです。これからも参加したいです。」と話していました。

【ファム フェン ニュン 総合政策学部 3年】

新編集委員（2年生）の紹介

ベトナム出身です。現在、国際関係に興味があり、勉強しています。将来は通訳として、国々の良い関係を維持する仕事がしたいです。日本語や英語の語学力を高め、もう一つの外国語も勉強したいと思っています。

ヴォン ゴック アイン
(総合政策学部 2年)

スリランカ出身です。経営や会計の基礎になる科目を頑張って勉強しています。卒業後は、日本の会社でマネージャーとして就職したいと考えています。今は、日本語能力試験N2なので、N1を取れるように頑張っています。

タルカ デイルシヤニ
(総合政策学部 2年)



中国から参りました。経済学や経営学に興味があります。また、将来は販売士の資格を取得して、日本でその資格を活かした仕事に就きたいと思っています。今は、その資格を取るため、一生懸命勉強しています。

チョウ テンラク
(総合政策学部 2年)

ベトナム出身です。コンピューターに興味があり、四日市大学に入学しました。将来はプログラミングの仕事をしたいため、Pythonについて学んでいます。志望する会社に就職できるよう、日本語の勉強も頑張っています。

サイブイジェウ チャン
(環境情報学部 2年)

出身はネパールです。留学生なので大学の勉強はもちろん、日本語も大事です。だから今、科目の勉強も日本語の勉強も頑張っています。日本語能力試験N2は合格できたので、次はN1合格を目指します。

ポウデル サグン
(環境情報学部 2年生)

研修旅行

2023年2月24日、留学生・日本人学生交流研究旅行に37名が参加し、四日市駅前からバスで大阪と神戸を訪れました。

大阪城に着いたら雨が降っていて心配しましたが、壮大な城壁や天守閣を、傘をさしながら意外と楽しく見学しました。江戸時代の生活や戦い方の展示が印象に残りました。



神戸の南京町には伝統的な建物や食べ物があり、歴史的な雰囲気を感じました。

また、北野工房のまちでパフェの食品サンプル作りを体験しました。本物そっくりには作れませんでした。フルーツの色合いを見ながらアイスクリームの形を作るのは面白かったです。

【クンワル ラメシュワル 環境情報学部 3年】

サークル紹介（旅倶楽部）

旅倶楽部部長の大西裕馬さん（総合政策学部4年）に取材しました。旅倶楽部は日帰りの貸切電車ツアー、さわやかウォーキングなどを実施し、サンタ電車やB-1グランプリ集客の企画、提案をしているクラブです。国家資格である旅行業務取扱管理者試験のサポート（合格者からアドバイスなど）もしています。

「旅倶楽部への参加で日本を知ることができ、大学生活が楽しくなるので、留学生の皆さんもぜひ参加してください」とのことです。

【タルカ ディルシャニ 総合政策学部 2年】



（一番左 部長の大西さん）

ベトナムのじゃんけん

ベトナムではじゃんけんをオアントゥティ「oản tù tì」と言います。

グーはダン「đấm」、チョキはケオ「kéo」、パーはバオ「bao」です。日

本ではグーは石、チョキははさみ、パーは紙を表しますが、ダン

は槌、ケオははさみ、バオは紙を意味しています。

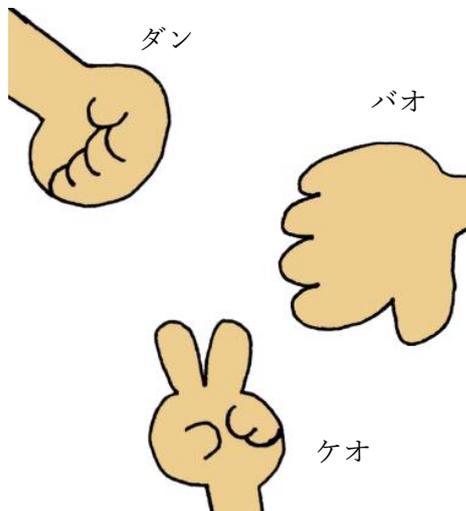
手を出すとき、日本では「最初はグー、じゃんけんぽん」ですが、ベ

トナムでは「オアントゥティ、ラカイジ、ラカイナ」と言い、「何か手

を出す」という意味です。

ぜひベトナム語で遊んでみてください。

【サイブイジェウ チャン 環境情報学部 2年】



中国で観ていた日本のアニメ

私は幼い頃に中国で日本のアニメをたくさん観ましたが、その中で一番印象深

かったのはドラえもんです。理由は、夢や希望を与えてくれるだけでなく、友情や

努力、家族の大切さなどを教えてくれたからです。ドラえもんは愛らしい外見と大

きな目が特徴で、ひょうきんな性格やユーモアが面白いところも魅力の一つです。

最近、中国では『鬼滅の刃』、『進撃の巨人』、そして心を癒す『君の名は』、『す

ずめの戸締まり』が流行しています。

【チョウ テンラク 総合政策学部 2年】



奨学金

2023 年度文部科学省外国人留学生学習奨励費 特別枠 留学生就職促進教育プログラム(日本学生支援機構)

○環境情報学部

バザガイ ミラン (3年)

ポウデル サグン (2年)

レ トゥイ ヒエン (3年)

○総合政策学部

カドカ ビマル (3年)

グエン レー キム ガン (3年)

グエン テイ トウ タオ (3年)

サン ミイン ウィン (3年)

ニンニン モー (3年)

ピョ タンダー チョー (3年)

ファム フェン ニュン (3年)

ライ バビ (3年)

リン シャオイエン (3年)

チョウ テンラク (2年)

リュウ キン (2年)

ヴォン ゴック アイン (2年)

一般財団法人三重韓国教育会奨学金 (2023 年 6 月)

○環境情報学部

スベディ スニル (3年)

○総合政策学部

ドダソムラゲー デイルシャーン アカソカ (2年)

2023 学年度ロータリー米山記念奨学金 (公益財団法人ロータリー米山記念奨学会)

○環境情報学部

ジャセントウ リヤガ マイケル プラビーン ファント (4年)

○総合政策学部

グエン テイ テウイ チヤン (4年)

レグミ アルジュン (4年)

2022 年度国際ソロプチミスト三重賞 (国際ソロプチミスト三重) リン シャオイエン (総合政策学部 3年)

2022 年度国際ソロプチミスト三重-北賞 (国際ソロプチミスト三重-北) リュウ キン (総合政策学部 2年)

受給者の声

私は「2023 年度文部科学省外国人留学生学習奨励費」を 2023 年 4 月から 1 年間もらいます。今までは生活費や学費など、すべてをアルバイト代で支払っていたため、勉強は短時間でした。大学の勉強は、2 年生からかなり難しくなってきたので、より頑張って勉強しないといけなくなりました。そんな時に、奨学金をもらって助かりました。奨学金のおかげで、アルバイトの時間を短くでき、勉強の時間を長くできるようになったので頑張りたいです。



【ポウデル サグン 環境情報学部 2年】

スベディ スニルさん 感謝状贈呈



2023年2月、スベディ スニルさんは四日市南警察署から感謝状を贈呈されました。2月5日スニルさんはアルバイト中、5万円のプリペイドカードを購入しようとした60代男性の行動を不審に思い、店のオーナーに報告しました。男性は「パソコンがウイルスに感染したので直してもらうため」と話しており、特殊詐欺の可能性が高いと判断され、オーナーが警察に通報しました。スニルさんの行動により詐欺は未然に防がれました。翌日被害を免れた男性から「ありがとう」と伝えられたスニル

さんはとても喜びを感じ、人を助けることで幸せを実感できたそうです。

【カドカ ビマル 総合政策学部 3年】

編集後記



長いマスク生活を経て、今年3月からようやくマスクの着用が義務付けられなくなりました。校内での着用は推奨されていますが、マスクをせずに顔に風が当たる生活ができてよかったです。皆さんはどうでしょうか。最初の2年間はみんなマスクをしていたので、留学生新聞で皆様の姿を見ることができて嬉しかったです。

留学生新聞は、留学生活と自分の感じたことを共有するプラットフォームを提供しており、私達に異国の地でお互いの理解と繋がりを深める手助けをしています。また、留学生の皆さんが直面している挑戦や努力をお知らせし、さあ、新しい学期も一緒に頑張りましょう！という元気をお届けします。

【リン シャオイエン 総合政策学部 3年】